

報道関係者各位

熱さに負けない職場づくりで夏の安全運行を支える

熱中症対策のためドライバー・従業員へ水・塩飴を配布

毎日100本以上の冷凍ペットボトルを常備 6月1日(月)～10月末日まで

地域に根差した総合物流サービスを提供する三重執鬼株式会社(本社:三重県鈴鹿市、代表:寺田 忍)は、従業員の熱中症対策のため、6月1日(月)より、全従業員を対象に水と塩飴の配布を始めます。



毎日120本ほど常備する凍らせたペットボトル(左)と塩飴

昨年6月から、職場における熱中症対策が罰則付きで義務化されました。一方で、昨年の熱中症による死傷者数は、過去20年間で最多を記録しています。

当社は、凍らせたペットボトルの水と塩飴の配布のほか、保冷/空調ベストの配布や倉庫への大型ファン設置などの熱中症対策を実施し、従業員の安全な労働環境確保に取り組めます。

【概要】

熱中症対策のためのドライバー・従業員への水・塩飴の配布開始

日時: 2026年6月1日(月)～10月末日

※配布開始の6月1日は14:00頃～取材・撮影可能です

場所: 三重執鬼株式会社(三重県鈴鹿市地子町523-2)

内容: 当社ドライバー・従業員へ凍らせたペットボトルの水と塩飴を配布します

【労働現場での熱中症の現況】

深刻化する職場での熱中症災害発生を背景に、昨年 6 月 1 日から、職場における熱中症対策が罰則付きで義務化されました。

しかし厚生労働省によると、2025 年の職場における熱中症による死傷者数(※1)は、前年比 486 人増の 1681 人と、統計を取り始めた 2005 年以降、最多となり、うち死亡者数は 15 人にのぼり、ました。また、2021 年以降の業種別の熱中症死傷者数では、運送業は 709 人と、製造業(1013 人)、建設業(996 人)、に次いで多くなっています(※2)。

※1 職場での熱中症による死亡者及び休業 4 日以上の上業務上疾病者の数

※2 出典:厚生労働省「2025 年(令和 7 年) 職場における熱中症による死傷災害の発生状況(令和 7 年 12 月末速報値)」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001662461.pdf>

【当社の熱中症対策の取り組み】

当社は例年、従業員に対し、夏季の水・塩飴配布を実施しています。

社内に大型冷蔵庫を設置し、1 日あたり 100～120 本の凍らせたペットボトルを常備。また、グループごとに塩飴を用意し、随時水分・塩分補給ができる体制を整えています。

このほか、体温調節のための保冷/空調ベストを希望者に配布し、30～40 人ほどの従業員が利用しています。倉庫には大型ファンを設置し、作業現場の温度・空調管理を徹底しています。

今後も熱中症予防対策と啓発・連絡体制の強化を図り、全従業員が快適に働くことのできる安全な労働環境を確保してまいります。

＜本プレスリリース、取材などに関するお問い合わせ＞

三重執鬼株式会社 部署名 経営管理グループ 担当 初見

TEL: 059-384-0003 E-mail: hanako@toruki.co.jp

URL: <https://www.toruki.co.jp/>